

医薬品候補化合物の新規安全性評価技術

・はじめに

旭化成ファーマは、病気で苦しんでいる患者さまが安心して服用できる新薬を創製することで患者さまを病から開放し、「健康で快適な生活」を送っていただけるようにすることを目指し、日々研究開発に取り組んでおります。その実現のために、ヒトにおける医薬品候補化合物の安全性を、生物学的メカニズムに基づき、より一層精度高く評価できる新規評価手法を求めています。

・提案募集内容

1. 慢性毒性、特に肝毒性を予測する *in vivo*、*in vitro* あるいは *in silico* 新規評価手法

- *in vitro* 評価については、細胞ソース、細胞培養法、評価手法のいずれでも可
- トランスクリプトームデータを利用した毒性メカニズム解析手法を含む
- がん原性予測に関する手法を含む

2. 蛍光イメージングを利用した新規 *in vitro* 毒性評価手法

- High content analyzer (HCA)を利用した細胞アッセイで適用可能であること
- HCA で取得した画像データを用いた *in silico* 解析法を含む

・対象とならない研究内容

下記の研究内容は今回の募集の対象外とします。

- 医薬品への適応、あるいは臨床への外挿 (Translational research) を企図していない手法
- *in vivo* imaging を用いた手法
- ブタ (ミニピッグ、マイクロミニピッグを含む)、NHP (Non-Human Primates) を用いた手法

・研究費、研究期間

- 研究費は共同研究費として1年あたり最大500万円を支給致します。研究内容、ご希望等を考慮し、決定致します。
- 研究期間は1~3年間です。契約は1年更新と致します。

・提案書への記載事項

提案書には下記の項目の記載をお願い致します。

書式は自由です。

- 所属組織の概略および研究実績
毒性学分野における実績があることが望ましいですが、基本的に所属や研究領域は問いません。
- 提案技術のこれまでの研究状況
- 3年間の研究計画
- 協業の形態に関するご要望、あるいはその他弊社へのご要望事項
- 提案技術に関する知的財産の状況
- 提案内容に関する過去の発表履歴

・提案にあたって

提案書作成の際にご注意いただきたいこと。

- 提案書は、全体で5ページ以内 (A4サイズ、PDF形式、図表含む) に収まるようお願い致します。
(必要に応じて添付書類を追加することは可能です。)
- 提案書には機密情報を含まないようご注意ください。
- ご提案を頂きました後、選考を経て有望と判断された場合、必要に応じて秘密保持契約を交わしたうえで、協議条件などについての詳細を議論させていただきます。

・応募先、応募期間、問い合わせ先

- 提案書は下記メールアドレスへ、メールにて添付する形で応募ください。

drug-seeds@om.asahi-kasei.co.jp

旭化成ファーマ (株) 医薬事業推進総部
研究公募受付係 宛

- 応募期間は、2016年3月25日 (金) 17時までです。
- 応募に関するご質問も上記メールアドレスへ、メールにてお問い合わせください。

・選考結果について

- 弊社内で厳正な選考をさせて頂いたうえで、第一次選考結果は5月中旬を目途にメールにてお知らせ致します。